

SUNDAY NIKKEI

A. 保育サービスにはいろいろな種類がある

申込先	認可保育園	認可外保育園など
自治体の窓口	自治体の窓口	各施設に直接 ※一部自治体の場合も
公立園	施設の大きさ、保育士の数など国の定める基準を満たす。市区町村の直営。ベテラン保育士が多い。園や自治体からの補助が手厚く、保育料は所得に応じて決まる	自治体の定める基準を満たし、道普賢の一部助成を受けている。東京都の「認証保育園」などが該当。小規模・少人数の施設が多い
私立園	施設の大きさ、保育士の数など国の定める基準を満たす。社会福祉法人の運営が多い。園ごとに個性がある。保育料は公立と同じ扱いになる	自治体の助成がない託児施設、ベビーホテル 届け出のみで、公的助成を受けていない。保育環境や内容にはばらつきがあるので、事前の見学・チェックが必須 企業や病院などが従業員のために設ける。勤務時間に合わせた保育をする ・家庭的保育事業(保育ママなど) ・認定こども園 ・幼稚園の預かり保育

B. 待機児童数の多い自治体では、認可外保育所を利用する世帯向けに保育料を補助している

自治体名	主な補助内容(金額は1児当りの月額)	所得制限の有無
横浜市	市の基準を満たす(横浜保育室)に3歳未満児を保育する世帯向けに、1万~4万円を補助	前年の所得税額が20万3000円未満の世帯
東京都世田谷区	市の基準を満たす(認証保育園)利用世帯向けに、5000~2万円を補助。別途、保育ママなどの利用者も所得に応じて補助	前年の所得税額課税対象額が423万8000円未満の世帯
仙台市	市の基準を満たす「せんだい保育園」や「幼稚園保育園」などに3歳未満児を保育する世帯向けに、第1子は1万5000円、第2子は7500円を補助	前年の所得税額が7万2000円未満の世帯
東京都練馬区	(認証保育園)利用世帯向けに、0歳児は2万円、1~2歳児は1万5000円、3歳児以上は1万円を補助	所得制限はなし
相模原市	市の基準を満たす(認定保育園)利用世帯向けに、1万2000円を補助。第2子以降は1000~1万1000円増額	所得制限はなし
東京都八王子市	(認証保育園)利用世帯向けに、1万5000円を補助。認定こども園に通う3歳未満児も対象。保育ママの利用者は1万円、第2子以降は1万円増額	所得制限はなし
福岡市	定員6人以上で、市や県に届出を行っている認可外施設利用世帯向けに、5000~2万5000円を補助	前年の所得税額が4万円未満の世帯

(注)2人以上以上子どものいる世帯向けに減免措置を講じる自治体もある

知っておきたい選考・費用

基礎知識

パート、求職中などで多様化も

認可園 手厚い公費、料金も割安

園には園庭がある。こつした規模の大きさに加え、所得に応じて保育料が決まり、兄弟が同時に在園していれば下の子の保育料が減額される仕組みもある。保護者の経済的負担が軽いことから人気が高まっている。認可園に入園を希望しているが受け入れてもらえないといった待機児童の数は、全国で約2万6275人(今年4月1日時点)に上る。多いのは0歳児で、とりわけ1歳児枠の入園が最難関とされる。

入園の選考は市区町村の担当部署ですべてを担当する。親の就業状況、持病や障害の有無など子どもや「保育に欠ける」度合いを点検し、ポイントが高い順に入園を認める仕組みだ。以前は選考基準を公開しない自治体が多かったが、最近では開示するところが増えている。同居の祖父がいると申し込みなど、自治体ごとに細かく決まっているので、事前に確かめておこう。

認可外 自治体の補助制度拡大

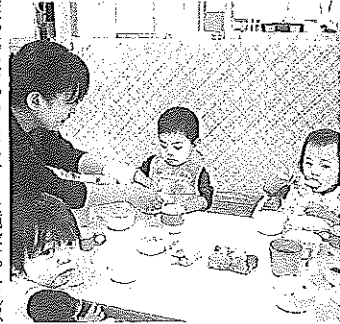
待機児童の多い地域では、フルタイムの共働き夫婦がたかざんいるため、第2子の入園選考ではポイントに差がつきにくい。「同点で並んだ場合は、ルートルに従った所得額の低い世帯を優先している(東京都世田谷区)。最近では持ち点を増やそうと、新年度に入ると前に育休を切り上げて職場復帰を目指す人が増えていくが、激戦区は認可外園も不足しているのが実態だ。

認可外保育園は自治体独自の基準を満たして公費の助成を受けている施設で、

「事業所内保育所や「ベビーホテル」などに大別される。運営主体は企業、非営利組織(NPO)、個人など様々だ。これ以外にも資格を持つ女性が自宅や乳幼児を預かる「保育ママ」など、自治体独自の基準を満たす施設の代表例には、東京都の「認証保育園」や横浜市の「横浜保育園」がある。一狭い「園庭がない」など否定的なイメージを持つ人も少なくないが、ベネッセ次世代育成研究所の持田聖子研究員は「小規模・少人数で保育内容を工夫するなど親の信頼を得ている園も多い」と話す。

とはいえ「認可園の保育料は月額1万5000~3万円程度が一般的なのに対し、

各地の自治体で2011年度の認可保育園入園のための申し込み手続きが始まった。保育園の新設などに自治体の多くが努めているが、景気低迷の影響もあり特に都市部では受け入れ施設の不足が解消できていない。子どもが入園できるかどうかは、とりわけ母親が仕事を続けられるかどうかに関わる。選考の仕組みや費用を中心に、知っておきたい保育園の基礎知識をまとめた。



パートで働く人などを主な利用者とする「定期利用保育」(東京・足立のTKチルドレンズファーム大谷田)

認可外 自治体の補助制度拡大

認可外保育所への申し込みも同時並行で、事前の見学は忘れずに、地域の口コミを集めよう

C. “保活”の心構え5カ条

1. 認可外保育所への申し込みも同時並行で
2. 事前の見学は忘れずに
3. 地域の口コミを集めよう
4. 選考基準や園の新設など自治体の制度・情報をよく勉強しよう
5. 入園希望園は通える範囲で多く書こう

学する際は、子どもが楽しんで遊んでいるか、放っておかれていないか、放りかたに注目して」と話す。決められた日時に開かれる見学会だけでなく、「通りがかりに外から園の様子をつかめる」こともあるという。熱気帯に届いた保育サービスの多様化も徐々に始まっている。東京都が都内の待機児童8435人(今年4月時点)の内訳を調べたところ、保護者の約6割はパートや求職中の人だった。認可園の選考は、すでに仕事をしている人や長時間働いている人が優先されるためだ。

こつした状態を受けて東京都ではパートや求職中の人を主な対象とした「定期利用保育」事業を始めた。都や区の補助金増やすことと、通常の一時保育よりも保育料を安く抑えるのが特徴。平日や時間帯を決めて預けるため、親は勤務シフトを決めやすい。現在は足立区内の1カ所だけだが、11年度には15市市相模原に広がる見通しという。

また、定員に空きがない認可園でも、失業入院配偶者などの離別、虐待の恐れなどで緊急性が認められる場合は、年度途中でも一時的に子どもを受け入れてくれる場合がある。「1人で入れない」「仕事をしたい」から無理に子どもを預けたいという場合、緊急事態の時は入園を申請しよう。

役所を訪れる際は、福祉事務所や住民生活支援センターにも立ち寄り、抱えている悩みを相談しよう。保護者が相談に乗ってくれるほか、貸付や給付制度などについても教えてもらえる可能性がある。前出の阿田菜津子は「保育園には様々な事情を抱えているという家庭を支援する役割があることも忘れていない」と強調している。

「事業所内保育所や「ベビーホテル」などに大別される。運営主体は企業、非営利組織(NPO)、個人など様々だ。これ以外にも資格を持つ女性が自宅や乳幼児を預かる「保育ママ」など、自治体独自の基準を満たす施設の代表例には、東京都の「認証保育園」や横浜市の「横浜保育園」がある。一狭い「園庭がない」など否定的なイメージを持つ人も少なくないが、ベネッセ次世代育成研究所の持田聖子研究員は「小規模・少人数で保育内容を工夫するなど親の信頼を得ている園も多い」と話す。

とはいえ「認可園の保育料は月額1万5000~3万円程度が一般的なのに対し、

2010年11月21日現在